



**第20号**  
港北区体育指導委員  
連絡協議会広報紙

# 活き生き体指

**KOHOKU**

**No.20**  
平成15年3月19日発行  
発行者  
港北区体育指導委員連絡協議会  
編集  
港北区体指協広報委員会  
事務局  
横浜市港北区大豆戸町26-1  
横浜市港北区役所地域振興課内  
☎ 045-540-2240  
FAX 045-540-2245

## 第18回 港北駅伝大会

開催日：平成15年1月19日(日) 会場：鶴見川河川敷

### 駅伝委員から見た港北区駅伝大会

大曾根地区会長 蓮田 雅弘

第18回駅伝大会を開催するにあたり3度の駅伝委員会を開きました。前回の反省点を踏まえ事故無く安全に大会を運営することを第一に考え計画を練りました。大会要綱に港北駅伝大会の歴史を紹介すること、高校の部に限っては港北区から枠を広げ横浜市、川崎市の高校に参加を呼びかけること、タスキを長くすること、運営をスムーズにするため繰上げスタートを実施すること、大会を盛り上げるためにスポンサーを探し、サービスを提供してもらうことなどを決定し本番に臨みました。(朝日新聞社がメダル、(株)トーエルがミネラルウォーターの提供)

一番心配していた参加者チーム数は、高校女子の部が増加し華やかさを加えた反面、一般男子の部がやや減少、中学生の部が男女とも減ったのが残念でした。

大会当日は役員の方々には寒い中早朝から準備にかかってもらいました。大会本部の設営、横断幕設置、折り返し地点の設営、すべて順調に進みました。提供品設置の不慣れからスタート時間が5分遅れてしまったが各中継点に連絡がなかったのは来年への反省点ではあります。

文頭でも述べましたが、負傷者もなく選手全員が大健闘で活気のある大会であったと思います。来年、再来年と発展することを祈って報告とします。皆さん大変ご苦労様でした。



よーい、ドン。

### 第18回港北駅伝大会記録

部 別	一般男子	一般・高校女子	高校男子	中学男子	中学女子	連合町内会
優 勝	日大高校OB 混成チーム 1'25'18"	横浜南高校 1'39'49"	横浜高校 1'19'00"	六角橋中A 0'54'30"	大綱中陸上部A 1'05'26"	太尾連合A 1'31'24"
準優勝	さくらRC 1'25'32"	山手学院 1'45'53"	桜丘高校 1'21'38"	神奈川中学校 陸上競技部 0'59'06"	六角橋中 1'05'40"	新吉田連合 あすなる連合チーム 1'38'21"
3 位	チーム安井 1'27'50"	東横学園 大倉山高等学校 1'46'46"	旭高校 1'22'56"	大綱中 陸上部A 0'59'24"	城郷中学校 1'10'15"	篠原 1'39'21"
4 位	横浜好走会 1'31'20"	法政女子 高等学校 1'47'04"	釜利谷高校A 1'24'08"	城郷中学校 野球部A 0'1'00'59"	神奈川中学校 陸上競技部 1'12'21"	綱島 連合チーム 1'39'40"
5 位	明治製菓 1'31'59"	橘女子 駅伝同好会 1'56'54"	県立光陵高等学校 1'24'15"	日本大学 中学校A 1'01'03"	高田中学校 1'26'40"	日吉 1'39'49"
6 位	水道局北走会 1'32'10"	桐蔭学園 -	川崎 工業高等学校 1'24'21"	六角橋中B 1'01'14"		大曾根A 1'40'32"

## 第 18 回港北駅伝大会

太尾地区監督 野本 征治

今大会は、近年にない苦勞の多い大会でした。昨年、一昨年に引き続き 3 連覇がかかった今年。どの地区も成し得なかった 3 連続優勝は意識しなくとも自然とプレッシャーとなり、責任者としてどう対応したらいいか大変でした。戦前、他の地区の打倒太尾の声が強くてどんなチーム編成で対抗してくるか心配でした。

そんな中、我が太尾チームの主力選手数名が大学受験等の都合で出場出来ない事がわかり、一層の不安材料となり今年は半ば諦めムードに変わりました。このような状況の中で当日を迎えるわけですが、結果は 2 位以下を 5～6 分引き離す、ぶっちぎりの優勝、素晴らしい 3 連覇となりました。選手の皆さん一人ひとりにあらためて感謝したいと思います。ここで申し上げたい事はいくら劣勢になっても諦めてはいけないという事です。それは小学生の子供たちが 2 ヶ月間きつい練習に耐えてくれた事、また太尾走ろう会の皆さんの協力でチーム編成が可能になった事です。今回多くの人達に助けて頂きました。ありがたいと思っています。そして、町会の皆さんの応援です。特に毎年の事ですが、とん汁を作って選手の皆さんを励ます、これら町会一体となつての勝利、町会長初め多くの皆さんにあらためて感謝を申し上げたいと思っています。ありがとうございました。来年もがんばります。



ハイチーズ。



ガンバレー!!



今日だけは一生懸命聞きました。



プロの迫力にびっくり!!

## 横浜ベイスターズ少年野球教室

綱島地区 大谷 幸弘

11 月 24 日(日)、綱島小学校にて恒例の野球教室が実施されました。ベイスターズから河原隆一投手、中村武志捕手、森繁和投手コーチの 3 名の方が来られました。一方、地域からは 400 名(16 チーム 250 人、見学者 150 人)が参加し、盛況な催しとなりました。ランニング、キャッチボールに続いて、代表者によるバッテリー練習、ベイスターズの選手も混じっての練習試合というメニューがこなされました。投手コーチが来られたので、スローイングでは、最初の構え方から、肩の上げ方、手の振り抜き方まで懇切丁寧な指導が行われました。少年 250 人に対し指導者が 3 人ということで、直接指導の対象者が限られてしまったことが少々残念でしたが、みんな整然と行儀よく話を聞き、見ておりました。小さな子から大きな子まで、さっそうとユニフォームに身を固め、目が輝いていたのが印象的でした。「将来はプロ野球選手になりたい」、そんな思いが伝わってきました。少年たちに夢を与えるこのような催しは、今後とも続いてほしいと思います。ベイスターズの皆さん、関係者の皆さん、ありがとうございました。

## 区体指研修会

開催日：平成14年12月1日(日)

会場：晴天(樽町多目的広場)／雨天(港北区役所)

### 港北区体指研修会に参加して

篠原地区 田川 博幸

12月1日(日)、従来にはない研修会が開催されました。年間に体指が関わる各種の大会がありますが、体指は運営するだけで、実際にその大会に参加するのは僅かです。その意味でも港北区の体指が一同に会して、グラウンドゴルフとベタンクを行うという今回の企画は画期的で楽しみにしていました。

篠原地区でも毎年グラウンドゴルフの大会を開催していますが、体指同士が冗談で「体指は理論やルールには強いが実践は弱い」などと言っています。初めて全員で実践が体験できるというこの研修会。はりきっていましたが、あいにくの雨。雨の場合は役所で、と事前の説明はありましたが、やはり拍子抜け。

もちろん、この企画を実行していただいた体指の方がいちばんがっかりしたのでしょうか、来年度ぜひとも同様の企画の研修をお願いしたい。その時まで、実践も鍛えておく意気込みです。



### 市体指大会 大会運営協力員

新吉田あすなろ地区 井上 洋子

第一部式典では、永年勤続表彰があり、港北区からは13名の体指が受賞されました。第二部では、「ワールドカップ後の横浜のスポーツ振興」のタイトルで前横浜国際総合競技場長の西田善夫氏による講演が行われました。ワールドカップの裏話やご苦労された事など、興味深い内容の濃いお話しでした。また、話し方自体も思わず引き込まれ、胸を熱くさせられる素晴らしいものでした。そのため、講演が終了した際には、大きな拍手が起こり感動が会場を包み込みました。私は、港北区の受付を担当し、式典の会場には参加できませんでしたが、ロビーにて受賞者一人ひとり読み上げているのを聞きながら、体指として2年、経験の浅

い私には、この制度の歴史と重みを痛感した次第です。私は、来期も勤めさせていただくことになりましたが、また新たな気持ちでがんばりたいと思います。

### 体指活動二十年を経て、地域に於ける体指とは

日吉地区 田邊 昭治

最初に今日(1月26日)ここに体指活動二十年の表彰を賜ったことを大変嬉しく思い感謝申し上げます。

まず、私が体指になったきっかけは、前任者より地域の町づくり活性化に取り組む自治会が楽しく明るい町づくりを目指す活動の中で、高齢者から子供達が安心して暮せる町づくりに協力して欲しいとの依頼がありました。そして貴方は何より生まれも育ちも地元のひとであるからと押し切られ、体指を引き受けることになりました。

体指としてまず、地域の人達に体指とは日々このような活動をしているということを知ってもらう事から始めました。それには年一回の活動報告を自治会に提出し、市、区が企画した体指事業には地区から積極的に参加してもらうように個々に働きかけ、参加者については、車での送り迎えなど行動的に立ち回り地域のスポーツ人口を増やしてきました。

そして体指活動も理解をされ、各種のスポーツ事業、イベントには積極的に参加して頂けるようになり、地域の町づくりに貢献できたと思います。

こうした中、体指活動の充実を図る意味で、地域の人達が遊び感覚で自由にスポーツを楽しむことが出来る「スポーツを楽しむ集い」を設立いたしました。この集いは小学校の体育館を借り室内スポーツを中心に多種に渡り、多くの人達で楽しくやっています。

また、体指の更なる発展充実を成し遂げるために、つぎのパートナーが必要不可欠と考えます。それは、地域、学校、行政との関わりです。そして情報がうまく伝わらないと地域スポーツは根づかず、また長続きしないと思います。

最後になりましたが体指活動はボランティアであり家庭の協力なくては出来るものではないと思います。これまでに長期に渡り活動できたのも地区の体指の方々を始めとし、家族の理解と協力があったものと解釈しお礼申し上げます。

横浜市体育指導委員永年勤続表彰受賞者

【10年表彰】小嶋純一(日吉)、小嶋清司(綱島)  
佐藤千恵子(大曽根)、後藤宏之(樽町)  
高橋紀男(樽町)、仁司信夫(菊名)  
仲沢照雄(師岡)、広井徳栄(篠原)  
田所俊弘(篠原)、蒔野秀治(篠原)  
川向隆次(新羽)、佐藤武夫(新吉田)

【20年表彰】田邊昭治(日吉)

# 地区発 とびくす

このコーナーでは、港北区内の地区体指協の活動レポートなどを掲載します。地区活動のなかで「こんなイベントをやっているからぜひPRしたい!」「この行事の運営方法はほかの地区でも参考になるのでは?」「うちの地区の自慢はこれ!」というものがあれば、各地区広報委員まで。投稿お待ちしております!! (投稿多数の場合は調整させていただくことがあります。)

## こどもと自然のふれあい広場

菊名地区青指 瀬川 和子

菊名地区は、東横線と横浜線が交差する菊名駅を中心とし、隣接する新横浜駅には、新幹線「ひかり」がとまり、羽田直通バスも運行されております。

総合庁舎、税務署、水道局、社会保険事務所が集中しており、地元での用事を短時間で済ませる事が出来ます。また、菊名北町、錦が丘、ふじ、泉が丘、表谷、大豆戸、喜久和、大倉山ハイム、新横浜町内会の九町の連合で、構成されており、緑と、坂や階段が多い所です。

ミニバス、少年野球、サッカー等、子どもたちのスポーツクラブもとても盛んで、中でも、世界中が感動した“2002FIFA ワールドカップ™”のカーテンレーザーマツ



ホールインワンをねらうぞー!

ちに、地元大豆戸FCが出演して、一生の思い出を心に刻むことが出来ました。私達の地区では、地域が一同に会して行う行事の中に、「こどもと自然のふれあい広場」があります。夏休みの最後の日曜日に、二百余名の親子が集まり、ふるさと思い出づくりに、汗を流します。

異世代交流の素晴らしい体験の場であることは言うまでも有りません。大先輩の方たちが担当する竹馬、水鉄砲、竹トンボ、お手玉作り等の伝承遊びや、体育指導委員が担当するグラウンドゴルフ、ペタンク等のスポーツ競技。輪投げにケン玉。ペットボトルロケットサッカーが加わり、幼児も一緒に楽しめます。



みんな注目!!

「無事故で終了」をモットーに、警備担当は消防団の方たちが引き受けて下さり、子供たちも最後まで、安心してゲームや遊びに集中することが出来ます。

子ども会のヤングママは、救護係と記録の方を担当し、プロ顔負けのカメラマンに変身、カメラ片手にさっそうと校庭の中を駆け巡ります。昼食のカレーライス、焼きソバ、フランクフルトは婦人部が担当します。香ばしい焼きトウモロコシを持ちながら、全員で盆踊りをおどり終了となります。感性豊かな子どもたちに、エネルギーをいっぱい頂いた大人たちでした。



上手にできたかな。

### 編集後記

日本が一つになった、日韓共同開催「2002FIFA ワールドカップ™」が、横浜国際総合競技場で、6月9日(日)日本戦をかわきりに、決勝戦を含め4試合が行われました。成功させるため多くのボランティアと共に体育指導委員も動員され、それぞれの立場で協力し盛り上げました。その感動の日からはや半年以上が過ぎ、第23期体育指導委員の任期も残り少なくなりました。これまで寄稿にご協力頂いた方々に、この場をおかりして厚くお礼申し上げます。また、広報委員各委員の奮闘、ご苦勞様でした。

港北区体育指導委員連絡協議会 広報委員長 内田 達